

公表：令和6年3月21日

事業所名：江戸川区篠崎児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	無効	合計	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	2	1	17	・肢体に配慮のあるお子さまについてはバリアフリーとは言い難い。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	10	1	17	・水曜日の人手が少ないように感じる。 ・足りないときは補助をお願いしている。 ・クラスによっては不足している。改善求む。 ・お子さん1人に職員1人配置が理想。現在はヘルプを頼み補っているが職員のお休みが増えると足りないと感じる。 ・多い時、少ない時などよく見られている。夕方クラスは多すぎる。 ・職員の休みが出てしまうと大変な時があると思います。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	3	1	17	・改善を求めたい。オムツ交換などはやりにくい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	0	0	17	・消毒等細かく行っています。特に金曜日はおもちゃ、棚等全て消毒しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	6	1	17	・話す時間を作りたいがために定時を過ぎてしまうことがあります。 ・クラスミーティングの時間が必要である。 ・クラス単位では行っていると思う。全体でもできると良い。 ・？ ・クラスでは実施している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	2	1	17	・分からない。 ・不明。 ・どのようなご意見があるのか分かっていないことが多い。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	1	5	17	・不明。 ・？
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	8	3	17	・第三者による外部評価は必要。早急に成されるべき。 ・？ ・具体的な業務改善は感じられない。 ・よくわかりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	4	1	17	・外部への研修がない。 ・研修機会はあるものの、十分ではないように思います。 ・外部研修を取り入れた方が資質の向上につながる。 ・研修はあるが、ないお湯がABAについてが多い。偏っている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	17	0	0	17	・必ず実施している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	6	0	17	・検査が適応できないお子さんへのアセスメントツールがなく、難しいことがあります。（肢体不自由児など） ・標準化されたツールが何かわからない。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	2	1	17	・分からない。 ・家族支援、地域支援については十分だとは思っていない。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	1	0	17	

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15	1	1	17	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	15	1	1	17	・工夫はしているが、児によっては固定化に安心する場合もあるため、配慮が必要。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	15	1	1	17	・個別に配慮はするが、個別療育を受けていない子に対しては集団のみのアプローチ。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	2	1	17	・担任の間では行われている。 ・夕方クラスは開始前に全く時間が無い。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	15	1	1	17	・担任の間では行われている。 ・終了後は必ず反省、改善点を話し合っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	16	1	0	17	・記録をできるだけ細かく書いている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	16	1	0	17	・日々行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	14	1	2	17	・不明。 ・改善を求める。利用している児だけ「うちの子」と呼ぶ。計画性がなく、クラスに負担が大きい。平等に家庭支援として仕事をして柔軟例をもってほしい。マニュアル通りに動いているだけだと感じる。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	16	1	0	17	・必要に応じて児相などを連携している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	3	4	17	・不明。 ・不足している。 ・まだその段階になっていないと思います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	6	5	17	・不明。 ・不足している。 ・まだその段階になっていないと思います。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	2	2	17	・分からない。 ・不明。 ・担当職員が行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	6	2	17	・分からない。 ・もっと連携がとれると良いと思います。 ・必要性があるのに全く実施されていない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	11	2	17	・しているかもしれないが、情報は現場の職員までおいてない。 ・相互に情報共有ができる機会があると良いと思います。 ・現場の職員は受けていない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	15	1	17	・実施されていない。

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	8	4	17	<ul style="list-style-type: none"> ・機会があれば参加したい。事前通知があるとありがたい。 ・場所を提供してはいる。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	17	0	0	17	<ul style="list-style-type: none"> ・相談や課題については共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10	6	1	17	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に相談に応じているが、プログラムとしては行っていない。 ・研修会などの機会がほしい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	3	4	17	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。 ・不明。 ・個別の欠席時加算などは電話をしていない職員がほとんどである。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14	0	3	17	<ul style="list-style-type: none"> ・面談を最低2回実施している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	17	0	0	17	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも応じるように心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11	4	2	17	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回のみであり、センターからはサポートしていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	1	0	17	<ul style="list-style-type: none"> ・スピード感は欠けているように感じる。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17	0	0	17	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	17	0	0	17	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	17	0	0	17	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ひとりに合わせた関わり方を関わり方を考えている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	9	2	17	<ul style="list-style-type: none"> ・全く機会ない、分からない。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	16	1	0	17	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルがあるのか不明。 ・今年度後半にやっと周知されたが、十分なものだと思っていない。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	17	0	0	17		
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	17	0	0	17		

非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	16	0	1	17	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	17	0	0	17	・出勤したら確認するようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	6	1	17	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のなかで虐待の認識の違いがある。 ・十分にはないように思います。 ・虐待防止の観点から、これまで度々おこなわれてきた「虐待防止の不適切な指導」を見直してきてきた事業所全体の認識の甘さを、まずは省みるべきである。また、起こった事実を歪曲して全体共有することは、正しい改善策つながらないということも、気づいていただきたい。その上で二度と同様の行為が繰り返されぬよう、そして誰一人傷つくことの無いよう、適切な対応が成されることを望む。 ・拘束や虐待の定義がある程度マニュアル化されているとより良いと考えた。 ・"人権とは?"から学ぶ機会があってもよいのではないかと感じる。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	8	2	17	・以前、同意を得ていないこともあったが、少しずつ改善されてきている。

・主任制度をなくしてほしい。主任を通すことで情報に正確性に欠け、スムーズにすまない。仕事内容が不明確で現場に還元されていないように思う。現場が改善されていく実感はなく、主任は優先的にクラスを抜けるなど残る職員の負担が大きすぎる。